

(様式第3号)

### 平成17年度調査研究中間報告書

調査研究 課 題	ブタインフルエンザウイルスの分子進化学的調査
計画期間	平成17年度～19年度 3年間
調査研究 計 画	インフルエンザウイルスの interspecies transmission の可能性を日本において調査した報告はあるが、未だその証左は得られていない。よって本調査の持つ意義は十分あるもの と考える。また、インフルエンザウイルスの ecology を考えるにあたり、ブタが様々な場 面で重要な役割を果たしていることが海外の研究で明らかとなっている。将来日本におい てもこれらの現象が起きることは十分考えられるので、これを補足出来る体制作りの一環 として本調査を行う。
進歩状況	平成17年4月からの進捗状況はまだウイルス分離の体制作りの最中であり、9月末より 材料採取に着手したばかりである。
これまで の成果の 概 要	なし
今後 の 計画・課題 対応方法	作業場所の確保が重要である。現時点では見通しが立っていない。